

担当  
小林

# 月主題 喜び合う

## ぶどうの木通信12月号

～月の願い～



- ・遊びを通して友だちと心をつなぐ経験をする。
- ・寒さの中でも戸外で体を動かすことを喜ぶ。
- ・日常生活の中でクリスマスの喜びを表現すること、分かち合うことを経験する。

日に日に寒さも増し、冬が近づいてきているのが手の冷たさを通して感じられる季節になってきました。そのような子どもたちは戸外遊びをして伸び伸びと楽しんでいます。11月からきく組さんがいつもの保育室から離れ、きく組単独で生活するようになりました。12月のページェントに向けて劇や、歌の練習に励んでいます。ぼろ組さんは、たんぼぼさんが困っている時には、自分たちで気づき、助けてあげるところをたびたび見かけるようになりました。そんなお兄さん、お姉さんに囲まれ、たんぼぼさんは安心して伸び伸び遊ぶことができます。12月はいよいよクリスマス祝会が行われます。製作も増え、子どもたちの中でも期待が高まる時期になってきました。当日に向けて期待が膨らむように楽しい保育を心掛けてまいります。

保護者の皆様、日ごろのご理解とご協力、本当にありがとうございます。

2023年もわずかとなりました。皆さまよいお年をお迎えください。



## クラスの様子



### きく組

今年も瞬く間に過ぎていって、あとという間に残り1ヵ月。子どもたちや愛児園にとってもワクワクの12月が始まりました。きく組さんは、ページェントの練習に毎日、楽しく取り組んでいます。皆でイエス様の生誕を祝う温かい日々になりますように過ごしてまいります。花村

### ぼろ組

クリスマスに向けて、南天金箱の製作に取り組みしました。はさみと上手に使い、細かい切り紙を作り、糊で貼って、素敵な「お家」の形の南天金箱に仕上がりました。12月は、毛糸を使ったクリスマス飾りを作ったり、時にはダンスを身体を動かしたりしながら、クリスマスの喜びに満ちた時間を過ごしていきます。佐藤

### たんぼぼ組

11月に入り学年での活動も少しずつ増え、同じ歳のお友だちと遊ぶ回数も増えてきました。今までそんなに話してこなかったお友だちとも仲よくなったりと、もちまのコミュニケーション能力ですぐに仲よくなっていました。クリスマスも近づき、保育園ではお製作もはじまりました。たんぼぼさんは「雪だるま」の南天金箱を作りました。1人1人が一生懸命作った雪だるまです。持ち帰る際にはぜひお持ち帰りください。小林

